

$$\begin{aligned}(x-3)(x-2) + 1 &= x^2 - 5x + 6 + 1 \\ &= x^2 - 5x + 7 \quad \text{ですから、}\end{aligned}$$

$$(x^2 - 5x + 7) \div (x-3) = (x-2) \text{ 余り } 1$$

$$(x^2 - 5x + 7) \div (x-2) = (x-3) \text{ 余り } 1$$

となりますね。

$(x^2 - 5x + 7)$ の x に 3 を代入したとき、 1 となります。

$(x^2 - 5x + 7)$ を $(x-3)$ でわったとき

余りは 1 となりますね。

$(x^2 - 5x + 7)$ の x に 2 を代入したとき、 1 となります。

$(x^2 - 5x + 7)$ を $(x-2)$ でわったとき

余りは 1 となりますね。

$$\begin{aligned}(x+3)(x+2)+1 &= x^2+5x+6+1 \\ &= x^2+5x+7 \quad \text{ですから、}\end{aligned}$$

$$(x^2+5x+7) \div (x+3) = (x+2) \text{ 余り } 1$$

$$(x^2+5x+7) \div (x+2) = (x+3) \text{ 余り } 1$$

となりますね。

x^2+5x+7 の x に、**-3** を代入すると

(x^2+5x+7) は **1** となります。

x に、**-2** を代入すると、やはり

(x^2+5x+7) は **1** となります。

$(x-3)(x-2)+1$ は

x^2-5x+7 ですから、

x^2-5x+7 に**-3** を代入すると **1** です。

x^2-5x+7 に**-2** を代入すると **1** です。

ということは、

x^2-5x+7 に**-3** を代入すると **1** になれば、

「 x^2-5x+7 は $(x+3)$ でわると **1 余る**。」

とっていいですね。

また、

x^2-5x+7 に **2** を代入すると 1 になりますが、

「 x^2-5x+7 は $(x-2)$ でわると **1 余る**。」

とっていいですね。。

これらをまとめて、

「 x についての整式の x に

或る数 **m** を代入した時

整式の値が **1** になれば、

その整式は、 $(x-m)$ でわると **1 余る**。

と言ってよい。」

$$(x+3)(x+2)+1 = x^2+5x+6 +1$$

この場合のようであれば、

x に -3 や -2 を代入した時 1 になるので、

「 x についての整式の x に

或る数 $-m$ を代入した時

整式の値が 1 になれば、

その整式は、 $(x+m)$ でわると 1 となる

と言ってよい。」